

史料で読む戦国史①

証言本能寺の変

従来の常識・通説に左右されることなく、
「本能寺の変」を史料に基づき検証！
本能寺の変研究を、織田政権論の
重要なテーマとして位置づける

- 百家争鳴の本能寺の変を、良質の史料群により証言！
- 史料編には、関係史料（合計117点）を収録。
- 各史料には、読み下し文を付し、本文中にて平易な解説を加える。



織田信長使用の「天下布武」の印

藤田達生著（三重大学教授）

二〇一〇年六月二日刊行！

定価三、五七〇円（本体三、四〇〇円＋税5%）

A5判上製・カバー装・336頁（予定）

ISBN978-4-8406-2048-2 C3021



証言！

「上杉本 洛中洛外図屏風」（米沢市上杉博物館所蔵）
にみえる本能寺とその周辺

八木書店 出版部

Yagi Bookstore Ltd. Publishing Dept.

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8

●TEL:03-3291-2961【営業】-2969【編集】-6300【FAX】

●E-mail:pub@books-yagi.co.jp

●Web:http://www.books-yagi.co.jp/pub

■本能寺の変の実像を暴く!

本事変に関わる基本史料を紹介し、読み下し文を付し解説を加える。このクレーターの分析を通して、室町幕府最後の將軍、足利義昭とその幕府の実態を明らかにし、それをもとに織田政権論を再検討する。

① 足利幕府は、元龜四年(二五七三)七月、義昭の追放により滅亡したのか?
② 義昭の亡命政権「頼幕府」の実態は?

③ 江戸く明治にかけて「つくられた」信長・義昭・光秀の歴史像とは?
本書によって、良質の史料を解説・解釈し、立論するという歴史学の方法を体験し、さらには、教科書レベルの「常識」を疑うことの重要性を「体感」できる。

十年来、「本能寺の変」を研究テーマとし、数々の論考を発表してきた筆者の研究の集大成。

1 光秀の密使派遣

越中魚津城の攻防

光秀の謀反決断の時期については、ここに揚げた「覚上公御書集」所収の(天正十年(二五八二)六月三日付直江兼統宛河内忠清書状写(1号文書)(205頁参照)が参考になる。あわせて『歴代古案』所収の同内容史料(参考1)(206頁参照)も参照していただきたい。

なお『覚上公御書集』とは、天明年間(二七八一〜八九)に米沢藩士平田範隅(天小姓番頭)が、米沢藩の修史事業の過程で集積された覚上公すなわち上杉景勝に関する史料を筆写・編纂して完成させたものとされている(山田、一九九九)。

1号文書を検討する前提として、天正十年段階の上杉氏の実情を瞥見したい。同年五月、越中・信濃・関東方面からの織田軍と、越後国内の反乱分子である新発田重家の北からの攻撃を同時に受けていた上杉氏は、存亡の危機に直面していた。

組見本 (史料編)

1 河内忠清書状写(覚上公御書集)

一、同年六月就尔、直江兼統信州表御出陳、呈書簡河内忠清清明智光秀尔越中表申送由伺之也、

先日者、御書被下候、奉頂戴候、仍其御表弥諸口被思召御依之由、目出至極奉存候、然而一昨日御越河之由申来候、何方迄出陣被御馬出候哉、昨今者一向二御左右無御座候間、無心元奉存候、随而上口様子委不承候、一昨日、從須田相模守方召仕之者罷越、才覚申分者、

自明智所魚津訖使者指越、御当方無二御馳走可申上由申来候与承候、実儀候者、定自須田方直尔使を上可被

申候、将又推参至極申事御座候得共、其元儀大方御仕置被仰付候へ、早速被納御馬能、越河州御仕置被成

〔読み下し文〕

一、同年六月につく、直江兼統信州表御出陳に、河内忠清書簡を呈して明智光秀越中表に申し送るを伺う也、

先日は御書下され候、頂戴奉り候、よってそのよいよ諸口思召され御依の由、目出至極に申候、(略)一昨日、須田相模守方より召仕の者し、才覚申す分は、明智の所より魚津迄使者也

御当方無二の御馳走申し上ぐべき由申し来り候申候、実儀候はば、定めて須田方より直に使を上

るべく候、将又推参し至極申す事御座候えども、その元儀大方御仕置仰せ付けられ候はば、早速御馬を納

目次

はじめに
プロローグ―明智光秀は逆臣だったのか?―

第一章 信長の西国政策

- 1 荒木村重の謀反/2 西国政策の変更
コラムI 幕府衆としての光秀
- 3 秀吉の長宗我部氏攻撃
〔第一章 史料編〕

第二章 天下統一の最終段階

- 1 紀伊国の幕府方勢力
コラムII 紀州惣国一揆か「雑賀惣国」か?
- 2 鞆の「公儀」/3 西国出陣
コラムIII 三日前でも拳兵は決断できていなかったのか?
- 〔第二章 史料編〕

第三章 「安土幕府」の時代

- 1 安土行幸/2 改革イデオロギー
3 三職推任
コラムIV 似て非なるもの
―安土城天主と大坂城天主―
- 〔第三章 史料編〕

第四章 本能寺の変

- 1 光秀の密使派遣
- 2 従軍武士・周辺住民の証言
- 3 クレーター決行/4 政権構想と支持基盤
5 公方の画策
コラムV 各地に残る光秀伝承
〔第四章 史料編〕

第五章 太閤と神君の神話

- 1 備中高松の講和
コラムVI 光秀の密使は捕まったのか?
- 2 復元「中国大返し」/3 天下の再建
- 4 「神君伊賀越え」
〔第五章 史料編〕
- エピローグ―信長スクール―
おわりに

史料解説/初出一覧
文献一覧/本能寺の変の推移

取扱店 (番線印)

2010年6月刊行予定

藤田達生著・八木書店刊 (Tel:03-3291-2961/Fax:-6300)

証言 本能寺の変

() 冊

ISBN978-4-8406-2048-2 C3021 ¥3400E 定価 3,570 円 (本体 3,400 円+税 5%)

申込書

お名前 (ふりがな)

TEL

ご住所 〒

FAX

E-MAIL